

会長 齋藤 宙也  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Edward Ong (シンガポール)

“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」

アジア太平洋地域会長 (AP) 田上 正 (熊本むさし)

“Act now with faith and love!”

「信念と愛を持って行動しよう！」

東日本区理事 (RD) 山下 真 (十勝)

「ワイズらしさの再発見」

“Rediscovering Y's Uniqueness”

かながわ部長 (DG) 兵藤 芳朗 (鎌倉)

「共に歩み 交流を深め 部の「絆」を強めよう」

横浜クラブ会長 (CP) 齋藤 宙也

「信念と愛をもって行動しよう！」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 菅原 歩

## <今月の聖句>

佐竹 博

我ら神より福祉 (さいはひ) を受くるなれば災禍 (わざわい) をも亦受けざるを得んや

(ヨブ記2:10 『日本聖書協会文語訳』)

## 今月のひとこと

### 自衛と戦争

齋藤 宙也

イスラエルが、今度は、イランに対し、攻撃に打って出た。



国際法の基本的論理から考えれば、違法な先制攻撃というほかないであろう。他方、21世紀に入ってから、先制攻撃の系譜はないではない。あの同時多発テロ以降、ブッシュ元大統領は、先制自衛なる概念を打ち出した。この概念の下にイラク戦争が実行されたのも、現在進行形の歴史である。アメリカと密接な関係を有するイスラエルが、この先制自衛論をまねしたとしても、それ自体は不自然ではない。

日本の国際法の教科書では、「先制自衛論の合法性については決着が付いていない」というような玉虫色の表現が多い

が、少なくとも、明確に是認した教科書はないと思われる。

ひとまず違法であるとして、国際法は、力によりこれほど簡単に破られてしまうのかと思えば、法律家ならずとも暗たんとするであろう。とはいえ、国際法は、国内法のように強制力を有する中央政府がない国際社会を規律する関係で、どうしても限界がある(民事執行法がない民法、刑事裁判がない刑法をイメージされたい)。それでも、国際世論の形成の基礎になるのはもちろん、例えばロシアですら、「国際法に従って行動している」と主張しており、国際法の存在自体を完全に無視しているわけではない。したがって、国際法は全く無力ではないというのが国際法学者の一致したスタンスである。

よく、侵略戦争と自衛戦争が区別されるが、実態としては正しくない。むしろ、帝国主義時代の植民地開拓などを除けば、ほとんどの戦争は、自衛名下に始まるというのが実態である(森達也『すべての戦争は自衛から始まる』(講談社、2019)参照)。太平洋戦争は、ABCD包囲網からの自衛、ウクライナ侵攻も、NATO 拡大からの自衛…。何かしら、自国を守るという大義名分を振りかざして始まるわけである。先制自衛論も、この延長線上にある議論である。

いずれにせよ、単に戦争反対を掲げるだけでは足りず、「すべての戦争は自衛から始まる」という基本的な経験則を前提として、国際社会の反戦の機運を高めていかなければならないであろう。

なお、国際法が伝統的に想定してきた戦争は、国家間で、宣戦布告して始めるというものである。しかし、現在、相手方が非国家主体(テロ組織など)であるため、そもそも国家間の戦争なのかどうかとか、宣戦布告がされていないではないかといった問題がある(ウクライナ侵攻も、イラン攻撃も、国家間の

戦争ではあるが特段の宣戦布告はない。)。これは、国際法の新しい論点である。

### <2025年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メン 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 6名	73% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

### <7月の行事予定>

#### キックオフ・PR

日	曜	時間	行事内容	場所
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会・総会・部長公式訪問	中央Y
18	金	13:00	日本語スピーチコンテスト	厚木市文化会館
19	土	15:00	25-26年度部第1回評議会	中央Y
23	水	11:30	横浜クラブ第二例会	Zoom

- (2)第3回部評議会(6/21)：古田・秋元・大高が出席、古賀が遅れて参加。不在の議決は古田に委任。
  - (3)加藤利榮さんが横浜クラブ功労会員として入会する。喜んで受け入れることに決定。
  - (4)日本語スピーチコンテスト  
厚木クラブとの合同共催  
7月18日(金)13:00~15:00  
於：厚木市文化会館  
齋藤会長の挨拶は、古田副会長が代読する。  
審査員：兵藤次期部長ほか 審査委員長：秋元  
支援金(現在30,000円)の増額の要請があった。
  - (5)8月納涼例会(第一例会)  
8月21日(木)横浜クラブ第一例会(納涼例会)  
於：ロイヤルホール横浜 費用：7000円  
部共催行事として行う可能性があることが報告された。  
他クラブやゲストなどの勧誘についてなどを検討した。  
なお、詳細を詰めるための会合を開く可能性あり。  
パンフレットは古田ワイズが作成済。
  - (6)ブリテン7月号編集計画
  - (7)その他  
6月第二例会日時：6/21(土)11:30~12:15  
今期の収支が2万円黒字のため、15000円をミャンマーに、5000円をウクライナ支援に充当することとした。
6. 閉会点鐘

### 第一例会報告

秋元 美晴

日時：2025年6月12日(木)18:30~20:00  
場所：横浜中央YMCA+zoom  
出席者：秋元、大高、古賀、齋藤、古田、菅原  
司会：大高ワイズ

1. 開会点鐘及び挨拶；古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条：全員
3. 今月の聖句と祈り：田口ワイズ(古田会長代読)、お祈り：古田ワイズ
4. 卓話；なし
5. ビジネス・報告：6月第一例会資料に基づいて進められた。

・行事予定：6月~8月までの行事予定  
・協議・報告事項

(1)横浜クラブ総会(7月10日)に向けて

●総会資料作成の確認、年度評価、次年度計画案のレビュー

秋元：資料1、資料2、  
古田：表紙、資料3、資料4、  
大高：資料5  
齋藤・古田：資料6  
齋藤：資料7  
古賀：資料8  
大高：資料9

上記に基づき、《2024-25年度の評価について》及び《2025-26年度計画について》など、原案をまとめた。

### 第106回YMCA-Ys協議会報告

古田和彦

日時 2025年6月3日(火)19:00~20:30  
会場 横浜中央YMCA6階608号室  
出席者 20名 内横浜クラブ4名(古賀健一郎、佐竹博、菅原歩、古田和彦)

今回は鎌倉クラブが当番、開会礼拝司会は藤澤幸隆担当主事、その後の進行は板崎鎌倉クラブ会長。

1. 開会礼拝 聖書 テサロニケの信徒への手紙II  
2章17節 祈祷 藤澤幸隆
2. 挨拶 横浜YMCA総主事 佐竹博  
ワイズメンズクラブ湘南・沖繩部部長  
久保 勝昭
3. 協議
  - (ア)第28回インターナショナルチャリティーラン  
関口努スタッフから説明。昨年度の収支差は4,881,756円。うち横浜YMCAには2,570,583円配分があり、23件の障がい児プログラムに配分した。今年は、10/18(土)臨港パーク、そのほかオンラインの参加もあり。例年通り、ワイズへの協力要請があり、協力することとなった。協力内容は、参加チーム支援金、当日のボランティア、Tシャツの購入など。
  - (イ)第32回エイズ文化フォーラム  
柳原絵里子スタッフから説明。8/1-3日(金日)かながわ県民センターで実施。ワイズからの支援に感謝が述べられ、参加の要請があり、了承した。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

(ウ)第37回東日本ユースボランティアリーダーズフォーラム (YVLF)

宮沢仁スタッフから説明。9/5-7日(金-日)富士山YMCAにて横浜YMCA主管で行われる。久しぶりの横浜の主管開催なので、ワイズも大勢参加してほしいとの要請があり、了承した。

4. 報告

(ア)横浜YMCAリーダー感謝会が2/4(火)行われ、38名の参加があった。

(イ)湘南・沖縄部ワイワイ交流会が、4/26(土)三浦YMCAで31名の参加で行われた。

(ウ)第28回ワイズ東日本区大会が6/7.8(土.日)宇都宮で開催される。

(エ)ワイズメンズクラブの新体制について兵藤次期部長から報告。部長：兵藤芳朗(鎌倉)、書記：板崎淑子(鎌倉)、会計：古田和彦(横浜)などである。

(オ)各クラブ報告(各クラブ会長)

横浜クラブからは7/18日本語スピーチコンテスト、8/21納涼例会のアピールを行った。

・次回 第107回

日時：2025年9月2日(火)19:00~20:30

会場：未定 担当：厚木ワイズメンズクラブ



かながわ部(旧・湘南・沖縄部)からの参加者

【6月7日(土)】

【12:30~】【プレセレモニー】

フィンランディア演奏(エレクトーン、フルート、ヴァイオリン、合唱付き)



ワイズソングの原曲として知られる、シベリウス作曲「フィンランディア」が演奏されました。「フィンランドの作曲家・シベリウス」が手がけたこの曲は、国の危機に瀕したフィンランドの人々を奮い立たせた作品であり、現在も“第二の国歌”として国民に広く愛されています。

第28回東日本区大会報告

古賀 健一郎

第28回東日本区大会は、宇都宮クラブをホストとして、6月7日(土)・8日(日)の両日、JR宇都宮駅から徒歩2分の『ライトキューブ宇都宮』にて、約320名の参加者を迎えて盛大に開催されました。宇都宮での区大会は、2003年、2022年に続き今回が3回目。ただし2022年はコロナ禍によりZoomによる開催となったため、今回は“リベンジ大会”とも呼ぶべき意気込みが感じられました。

大会のメインテーマは「ユース・エンパワーメントの実現！ Y's×SDGs Youth Action」。初夏の気配が漂う宇都宮の街で、参加者は熱気あふれる大会と温かいおもてなしを存分に味わいました。



鈴木伊知郎さん  
東京多摩スマイル  
2024年9月7日 在任

合唱団の一員である鈴木伊知郎ワイズの下記の言葉が、会衆の心を深く打ちました。

\*\*\*\*

『この曲は、昨年逝去された城田教寛ワイズのために演奏いたします。彼は2023年度、ユース事業主任を務め、2024年度は東京YMCA山中湖センターで開催されたユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)にて、実行委員長を担っておられました。

2日目の9月7日、昼食後に突然、腹部の激痛を訴え、床にうずくまるように倒れました。救急搬送され、その後ドクターヘリにより山梨大学医学部附属病院へ移されましたが、残念ながらそのまま帰らぬ人となりました。参加者一同にとって、それは大きな衝撃でした。つい先ほどまで元気に、私たちを力強く導いてくださっていた実行委員長が亡くなられたのです。その直後、山田理事の呼びかけにより、参加者全員が手を取り合い、輪になって城田さんを偲びました。私たちは、「このフォーラムを中止することなく続けていくことが、城田さんの意志にかなうはずだ」と信じ、悲しみの中で心を一つにしなが、予定通りの実施を決意しました。当時、甲府のワイズメンの



★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

方々、城田ワイズの所属クラブの皆様、YMCA 関係者の方々をはじめ、実に多くの方々にご支援いただきました。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

私が城田さんと出会ったのは2年前。ユース事業の悩みを打ち明けてくれた彼に、私はこう声をかけました。「僕たちはボランティアでやっているんだから、苦しんだり悩んだりする必要はないよ。気楽にいこう！」その一言をきっかけに、私たちは親しくなりました。彼に誘われて、私は初めて YVLF に参加しました。10歳年下の彼と、これからも一緒にワイズ活動を続けていきたいと願っていたので、本当に残念でなりません。

彼はオーケストラでトロンボーンを吹いており、「ワイズ東日本区大会で『フィンランディア』を演奏したい」という想いを語っていました。その想いを知った山田理事のご尽力により、今回、プロの音楽家や YMCA・ワイズ関係者の皆さんのご協力のもと、急きょ特別編成の演奏が実現することとなったのです。』(鈴木伊知郎ワイズ 談)

\*\*\*

なお、城田教寛ワイズについて紙面を割いてご紹介したのは、私自身、かながわ部ユース事業主査として昨年初めて山中湖での YVLF に参加し、実行委員長を務めていた城田さんと出会い、彼の情熱と人柄に深く心を打たれたからです。「この大会でいつか『フィンランディア』を演奏したい」という彼の願いが、今回、関係者のご尽力により実現したことに、城田さんの想いが生き続けていることを強く感じました。

困難の中でも前を向き続けた城田さんのまなざしと、ワイズへの深い愛を思い起こしながら、私たちもその志を受け継いでいきたいと願っています。

2025年度、横浜 YMCA が主催する YVLF (富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジにて9月5日開催) では、若い世代が希望をもってつながり合える場を目指して準備を進めてまいります。

### (13:00~) 【開会式】

山田公平理事の開会宣言・点鐘の後、小松仲史ワイズ (大和クリエイティブ) のトランペットによる前奏に続き、エレクトーンの伴奏で、参加者全員でワイズソングを斉唱しました。



### 【バナーセレモニー】

例年は各部長・会長がバナーを持って順に登壇する形式ですが、今回は時間短縮のためか、あらかじめ部長・会長がバナーを手に舞台上に整列するスタイルが採られました。

全7部51クラブが部単位で紹介され、かながわ部も久保勝昭部長の先導のもと、バナーを掲げて力強くアピールしました。



### 【開会祈禱・歓迎挨拶・来賓挨拶】

日本キリスト教団石巻栄光教会川上直哉牧師が開会祈禱。大久保知宏宇都宮クラブ会長の歓迎挨拶の後、来賓の佐藤栄一宇都宮市長、田口努日本 YMCA 同盟総主事、Joan Wong アジア太平洋地域次期会長、及び、鶴丹谷剛西日本区理事の皆様から祝辞をいただいた。

### 【メモリアルアワー】

年度内に永眠された9名の方々に偲ぶ「メモリアルアワー」。心に響くナレーションの中、それぞれの方々がワイズで果たされたお働きに耳を傾け、黙禱を捧げることができたのは、大きな感謝でありました。

### (13:55~) 《東日本区アワー》

#### 【2024—2025 年度東日本区理事報告】

山田公平理事より、今年度の区の総括の一つとして「ユースアクション第2弾の実施」について報告がありました。

「私は、東西のワイズメンと YMCA が一体となって、若い世代が未来のため、そして SDGs のビジョンのために何かできないかを考える機会をつくりたいと願い、本企画を推進してきました。

全国から10のプロジェクトを選定し、それぞれに一定の資金を提供。若者たちが、自ら考えた活動を“自分たちのため”ではなく、“社会のため”“地球のため”“人のため”に実施するという考え方です。

今年度は、札幌 Y、盛岡 Y、川越 Y、東京 Y、中央大学 YMCA、長野ワイズ、山梨 Y の7団体によるプロジェクトが行われました。

反省点としては、これらの取り組みがどの程度ワイズの方々には知られていたか、またどのように関わっていただけたかという点が課題です。しかしながら、YMCA とワイズが協力して、全国7か所でこうした事業を実施できたことは、大きな成果であったと感じています。

この後には、その一例として盛岡 Y のプロジェクト活動を振り返っていただきます。」

### 【ユースアクション事例発表】

#### 《こどもの人権プロジェクトの活動報告》

(盛岡 YMCA ボランティアリーダー会)

十文字 春菜さん (キャラメル)、青山 優菜さん (エア) みなさま、こんにちは。

本日は、私たちが取り組んでいる「こどもの人権プロジェクト」についてご報告いたします。

盛岡 YMCA リーダー会には、現在172名のリーダーが在籍しており、岩手大学、県立大学、盛岡大学の3大学を中心に構

成されています。子どもたちを大切に思う気持ちを共にし、仲間同士の絆も強いのが特徴です。今年の新人オリエンテーションには、70名を超える1年生が参加しました。各大学では盛岡YMCAがサークル登録されており、それぞれに担当者がいます。

私たちは、地域国際プログラムの一環である「こどもの人権プロジェクト」に所属しています。

その中で実施している「農村青年塾」は、盛岡市に隣接する雫石町にて、「オーガニック雫石」のご協力のもと、食と環境をテーマに学ぶ活動を行っています。今年の夏には、東京の子どもたちを対象とした長期キャンプも予定しています。なお、本日ご紹介した黒千石大豆を使ったコーヒー豆も、販売ブースにてご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

「こどもの人権プロジェクト」は、1年目に岩手県弁護士会からのお声がけをきっかけに始動しました。

1年目には、県内の子どもたちから人権標語を募集。

2年目には、県内7つの高校に絵札の作成を依頼し、

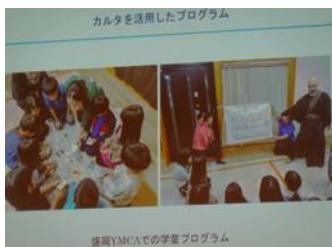
3年目には「人権かるた」として完成。盛岡YMCAの学童保育やフリースクール「にじの学園」に通う子どもたちとともに、寸劇を交えた「かるた大会」を実施しました。

この活動は、日本YMCA大会において「YMCAアワード2024」を受賞することができました。

子どもたちの真剣な表情や、かるたに取り組む姿に、私たちリーダーも大いに感動し、逆に多くのことを学ばせてもらいました。

現在は、プログラムの運営方法を工夫しながら、どうすればより効果的に「人権」を伝えられるかを試行錯誤しています。今後は小学校へのかるたの普及を進め、中学校への展開にも力を入れていく予定です。

「活動を続けていけば、岩手県からいじめがなくなる」。この願いを胸に、2030年を目標に「いじめゼロ」の実現を目指していきます。



現在、盛岡YMCAリーダー会出身の教員が県内に多数在籍しており、今年の春には新たに10人の先生が誕生しました。これも私たちにとって、大きな力となっています。

(14:50～) (東日本区アワー)

『事業主任報告、表彰、IBC・DBC締結式、理事役員引き継ぎ式』

(17:00～) 【記念落語会】

特別公演として、立川晴の輔師匠による落語会が開催されました。林家木久扇師匠の後任として『笑点』大喜利の新メンバーに選ばれ、落語のみならずテレビやラジオなどでも幅広く活躍されている師匠です。この日は、「笑点」抜擢の裏話も交えながら、演目「桃太郎」を披露。見事な話術で会場は大いに盛り上がりました。

「桃太郎」は、父親が子どもを寝かしつけようと、昔話を語り始めるという設定の落語です。桃太郎の物語を聞かせようとするたびに、子どもから絶妙なツッコミが入り、なかなか話が進みません。苛立ちが募る父親に対して、今度は子どもが逆にこう諭します。『鬼を退治するっていうのは、人生でいろんな苦勞をするってこと。苦勞の中で少しずつ“智・仁・勇”を身につけて、山のような宝を手にする。』

—じゃあ、「宝」って何だろう？

それはね、「思いやり」とか「優しさ」とか「友だち」とか、「親」とか「命」みたいな大切なものなんだよ。そういうものをたくさん身につけて、世の中の役に立つ立派な人になって、最後に家に帰っておじいさん、おばあさん、お母さん、お父さんを心から喜ばせました...って、そういう話なんだよ。』そして子どもは言います。「お父さん、聞いてる？ 聞いてる？ .....あれ？ お父さん、寝ちゃったよ。」

—という“オチ”で幕を閉じました。

晴の輔師匠の軽妙な語りの中には、混迷する現代社会にあって、子どもたちにとっても私たち大人にとっても、**私たちが忘れてはならない人としての大切な価値観が込められており、深い感動を覚えました。**

(18:10～) 【閉会式】

YMCAからの感謝状とYMCAの歌、山田公平理事の閉会宣言・点鐘をもって東日本区大会の幕を閉じました。

\*\*\*\*\*

(18:40～20:30) 【晩餐会】

晩餐会は、『ライトキューブ宇都宮 大ホール』にて開催され、約320名の参加者がテーブルごとに分かれ、ゆったりと楽しい食事のひとときを過ごしました。

はじめに、とちぎYMCAの塩澤達俊総主事による食前の祈りが捧げられ、続いて佐藤重良・東日本区直前理事のご発声により乾杯が行われました。

会場では、4店舗による“宇都宮餃子”が計900皿ふるまわれたほか、宇都宮クラフトビール3種、宇都宮白楊高校で生産された米を用いた宇都宮酒造の日本酒『白楊舞』など、地元の美味しい食材が数多く提供され、参加者一同、栃木ならではの食の豊かさを存分に堪能しました。



川越クラブとIBC(国際兄弟クラブ協定)を締結している、インド・ハイデラバードクラブによるインド舞踊。神話を題材にしたとの解説を交えながら、ゴージャスな衣装とともに、荘厳かつ華麗な舞が披露されました。

アピールタイムとして、第31回アジア太平洋地域大会(熊本)そして第29回東日本区大会(石巻)のアピールがあった。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



第29回東日本区大会(石巻)のアピール

横浜クラブの参加者は、宇都宮東クラブの岡田ご夫妻とご一緒に、和やかで楽しい歓談のひとつときを過ごしました。宇都宮大会の開催に尽力された皆様のご準備と、温かいおもてなしに心より感謝申し上げます。



最後に—

第28回東日本区大会では、多くの新たな出会いがあり、ワイズメン同士の絆をさらに深める、楽しく豊かな交流のひとつときを参加者全員で分かち合うことができました。今回の大会の企画・運営にご尽力くださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

(横浜クラブ参加者：秋元、大高、古賀、佐竹、菅原、田口、古田)

2024-2025 年度湘南・沖縄部 第3回評議会報告

古田 和彦

1. 開催日時・場所

2025年6月21日(土) 15:00~17:05 於 横浜中央YMCA6階608号室

2. 委任状を含め過半数の出席により成立  
横浜(会場：秋元、大高、古賀、古田)

なお、並木真区ユース事業主任がゲストとして参加された。

3. 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ(鎌倉)、議事の議長は久保部長

4. 議案とその採決結果

第1号議案 2025-26年度部長方針と事業計画の件(承認)  
兵藤次期部長が提案。部長主題：共に歩み、交流を深め、部の「絆」を強めよう！

部名変更を契機に共通のテーマである地域・Yサービス、会員増強、国際・交流、ユース各事業を展開、クラブの垣根を超えた活動をより推進し、交流を深め、部内各クラブの「絆」を強めていく。事業計画により、年間の部行事も示された。

第2号議案 部則細則一部変更の件(承認)

兵藤次期部長が提案。次年度から部に支給されていた東日本区補助金が廃止されるに伴い、部財政の均衡を図るため次の通り変更する。

部細則 4. かながわ部会員増強支援規則(4) 既存クラブへの新入会員に対する入会金(6000円)を部が負担する。→入会金の半額(3000円)を部が負担する、とする。

第3号議案 次期部役員について(承認)

兵藤次期部長から提案。部長以下、資料により提案された。

議事に続いて久保部長から、東日本区年次代議員会と5/24開催の区役員会の報告が行われ、次期(7/1)から、「湘南・沖縄部」は「かながわ部」とすることが決議されたこと、YVLF負担金がクラブ2万円から一人当たり1600円に変更になったなど報告された。続いて、各事業主査、各クラブ会長、YMCA担当主事から報告・連絡を行った。特に、古賀ユース事業主査から、今年のYVLFが横浜YMCAの担当で富士山YMCAを会場として「環境」をテーマに行われる、ワイズもできるだけ協力・参加してほしい旨依頼があった。最後に、辻監事から講評があり、17:05、久保部長の点鐘で閉会した。

なお、有志により、並木ユース事業主任を交え、久保部長の慰労会を中華街「心龍」で行った。

近況報告

ウクライナよ、私たちを連れ戻して・・・

古賀 健一郎

5月25日(日)午後、日本キリスト教団川崎鶴見地区主催により、溝ノ口教会を会場にポトラックパーティーが開かれました。15教会から子どもたちを含め約100名が集い、各教会が手作りの料理や飲み物を持ち寄っての温かい交流のひとつときとなりました。

この集まりには、溝ノ口教会牧師であり、神奈川教区議長でもある飯田輝明先生のお声がけで、横浜YMCAとつながりのあるウクライナ出身の方々3名が招かれました。私も、横浜YMCAの国際・地域事業担当の柳原絵里子さんと共に引率者として参加いたしました。

食後には礼拝堂で、参加者全員による心温まる交流の時間がもたれました。特に、ウクライナ出身の3名の方々の紹介の場面では、その語られる一言ひとことが会場の心に深く響きました。なかでも、70代のナタリアさんが民族衣装をまとい朗読された自作の詩は、静かに私たちの心に染み入りました。祖国ウクライナの(戦争以前の)美しい自然、平和な暮らし、そして失われた日々への深い思いが込められたその詩に、会場の空気が静まり返りました。詩の最後には、涙ながらに母国語で朗読するナタリアさんの姿に、私たちも胸を打たれました。柳原さんがその場で日本語訳を紹介してくださいました。

その後の懇談の中で、ウクライナの方々がか置かれている厳しい現実についても伺うことができました。ロシア軍に

よる大規模なミサイル攻撃により、空襲警報が日常的に鳴り響く中で、精神的なストレスにさらされているとのことでした。現地では仕事も少なく、ヨーロッパ各地へ出稼ぎに行く人が多いそうです。今回参加された若い2人のウクライナ人女性も、横浜YMCA職員として働きながら、アルバイトも掛け持ちし、母国にいる両親に仕送りをしていると語ってくれました。

ナタリアさんの詩の最後に記された「ウクライナよ、私たちを連れ戻して…」という言葉には、深い郷愁と、祖国の平和を切に願う祈りがにじみ出ていました。

会場に集った私たちは皆、ウクライナが一日も早く平和を取り戻すよう祈り、献金をささげました。

しかし現実には、戦争はいつかに終わる気配を見せず、むしろ激しさを増しているようにも感じられます。

「正義」の名のもとにぶつかり合う主張の中で、今この瞬間も、かけがえのない命が失われ続けているのです。

あの日、共に祈り合えたことの尊さを、私は今も噛みしめています。小さな祈りの輪が、絶望に覆われた世界に小さな光を灯すのだと信じたいです。

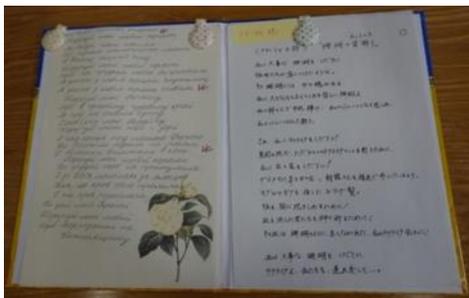
YMCA・ワイズメンズクラブの国際的なつながりが、痛みの中にある人々に寄り添い、希望を分かち合うための橋となることを、心から願ってやみません。

(添付写真をご覧ください)

①ナタリアさんの深いウクライナへの想いと涙が、私たちの心に響きました。



②会場に感動を与えたナタリアさんの自作の詩。



日本語訳: 澤田智恵さん

## 第二例会報告

大高 治

日時 : 2025年6月21日(土) 11:30~12:00

出席者: 秋元、大高、齋藤、菅原、古田

場所 : ZOOM

古田会長のお祈りに続いて開始。

1、行事予定の確認

6月21日(土)第二例会から9月11日(木)の9月第一例会までの確認。

2、協議・報告事項

(1)例会計画

①6月:総会資料;7月10日の総会に向けて、ほぼ完成したが、功労会員としての加藤さんの入会に伴い、収支の変更部分を加え、修正要。

元戸塚クラブの加藤利榮さん95歳は、その前は横浜クラブの会員で、再入会になり、7月1日付けで当クラブの功労会員になります。功労会員はワイズの会合への出席義務はないが、例会等へ参加には家族のサポートが得られ、ブリテンにも執筆して頂けそうです。

②7月:10日(木)総会・部長公式訪問

③8月:21日(木)納涼例会—部共催行事として開催の予定

・参加者:34~5名

・余興:名刺ビンゴ(Quoカード付)、歌他、検討要。

④9月:11日(木)の例会での卓話は、加藤さんを候補として検討し、折衝する。

(2)第12回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト

①日時:7月18日(金)13:00~15:00

②場所:厚木市文化会館(厚木市恩名1-9-20)

③準備:横浜クラブ協賛金3万円は総会で承認され次第、送金。

・開会挨拶:佐藤厚木クラブ会長

・審査員:兵藤部長他、秋元ワイズは審査委員長

・閉会挨拶:齋藤横浜クラブ会長のメッセージを代読

(3)7月号のブリテン編集計画:承認された。

(4)ロースターの記載内容:変更要望あれば、会長に連絡のこと。



担当主事 菅原 歩

今年の6月は雨が少なく、例年より気温の高い日が早く来ている気がします。気象庁のホームページを見ると、気温は昨年度より1度ほど平均気温が高く、降水量は250mm少ないと出ています。

農作物への影響も気になりますが、今年も暑すぎる夏が来ると想定されるため、体調管理に気を付けていきましょう。

6月7日 グローバルセミナー「難民について学ぶ」

6月15日 ウォーターセーフティーデー

6月23日~27日 光州YMCA短期研修団受け入れ

### 7月例会プログラム

日時：7月10日(木) 18:30~20:00

場所：中央YMCA・Zoom

司会 秋元美晴ワイズ

- 1 開会点鐘及び挨拶・・・・・・・・ 齋藤宙也会長
- 2 ワイズソング・ワイズの信条・・ 全員
- 3 今月の聖句・・・・・・・・ 佐竹ワイズ
- 4 ゲスト・ビジター紹介・・・・・・・・ 齋藤会長
- 5 部長公式訪問・・・・・・・・ 兵藤芳朗部長
- 6 総会・・・・・・・・ 議長：齋藤会長
- 7 ビジネス
- 8 Happy Birthday
- 9 閉会点鐘・・・・・・・・ 齋藤会長

例会報告：秋元ワイズ

### 8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1-3	金 ～ 日		第31回アジア太平洋地域大会	熊本
1-3	金 ～ 日		第32回AIDS文化フォーラム	かながわ県民センター
21	木	18:00	横浜クラブ8月第一例会兼納涼例会	ロイヤルホール横浜

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。

メール [sugahara\\_ayumu@yokohamaymca.org](mailto:sugahara_ayumu@yokohamaymca.org)

電話 045-307-7556